

第7期

SIF-Japan定例理事会・定例総会

(内容書類一覧)

理事会・総会 議事次第

第6期 事業報告・収支決算

第7期 事業計画案・収支予算案

運営委員候補一覧

役員一覧(参考)

特定非営利活動法人

社会的責任投資フォーラム(SIF-Japan)

第6期 事業報告・収支決算

自 平成 21 年 1 月 1 日
至 平成 21 年 12 月 31 日

事 業 報 告 書

財 産 目 録

賃 借 対 照 表

収 支 計 算 書

収支実績予算対照表

特定非営利活動法人

社会的責任投資フォーラム

平成 21 年度 事業報告書

平成 21 年 1 月 1 日から 21 年 12 月 31 日まで

特定非営利活動法人 社会的責任投資フォーラム
(SIF-Japan)

当フォーラム（以下 SIF-Japan という）の事業は、会員による年会費や協賛等の様々な形のご支援、役員、運営委員、Students による無償の活動によって実施され、以下の成果を挙げることができた。

1. 会員動向

21 年度の会員在籍数と入退会、役員、運営委員、Students 在籍数は以下の通りである。法人会員については経済情勢が厳しいこともあって、退会や会費減額も見られたが、一方で新規会員獲得への努力が成果を挙げつつある。個人会員は 13 名増で着実に増加している。

< 会員 > （在籍者ベース：期首の数字は、2 年以上会費未納者を含む）

種 別	期 首	入 会	退 会	期 末
金融機関（ ）	3	1 *1	0	4
金融機関（ ）	0	0	0	0
金融機関（ ）	0	1 *2	0	1
金融機関（ ）	0	0	0	0
一般企業	4	0	1 *3	3
公的・中間機関	6	2 *4	1 *5	7
NPO/NGO	4	1 *6	1 *7	4
個 人	87	18	5	100
（内、学生）	(9)	(2)	(1)	(10)
合 計	104	21	6	119
役 職	期 首	就 任	退 任	期 末
役 員	18	0	0	18
運営委員	22	3	2	23
Students	11	0	0	11

*1 株式会社損害保険ジャパン、 損保ジャパン環境財団より切り替え(*5)

*2 ㈱インテグレックス入会

*3 日産自動車株式会社退会

*4 日本経済研究所、(社)投資信託協会入会

*5 損保ジャパン環境財団から㈱損害保険ジャパンに切り替え

*6 NPO 法人ソーシャルコンシェルジュ入会。

*7 国際 NGO ナチュラル・ステップ・インターナショナル退会。

- 金融機関 () ...金融ホールディングカンパニー及び、以下 () ~ () 以外
 金融機関 () ...地方銀行
 金融機関 () ...投資信託委託・投資顧問・投資会社・信用金庫単独
 金融機関 () ...信用組合

< 法人・団体会員内訳 > * 期末在籍、入会順

【プレミアム法人会員】

- ・ 株式会社クレアン
- ・ 株式会社セブン&アイ・ホールディングス
- ・ 株式会社大和証券グループ本社
- ・ 住友信託銀行株式会社
- ・ 株式会社インテグレックス

【一般法人会員】

- ・ 株式会社日本政策投資銀行
- ・ 株式会社 Y A M A T O
- ・ 東京海上日動火災保険株式会社
- ・ NPO 法人エティック
- ・ KPMG あずさサステナビリティ株式会社
- ・ 有限責任中間法人自然エネルギー市民基金
- ・ 株式会社損害保険ジャパン
- ・ 株式会社あらたサステナビリティ認証機構
- ・ Carbon Disclosure Project Secretariat
- ・ 監査法人トーマツ
- ・ Responsible Investment Unit - FTSE Group
- ・ NPO 法人ソーシャルコンシェルジュ
- ・ 財団法人日本経済研究所
- ・ 社団法人投資信託協会

2 . 平成 21 年度事業報告

事業展開については事業計画に沿って活動を実施し以下の実績を挙げることが出来た。

特に本年度においては、国内外からの来訪・取材、S R I への引用が増加し、環境省や金融庁からコメントを求められるなど SIF-Japan の存在感も高まりつつある。またシンポジウムや年報発行に関して多くの協賛を得られたことは、SIF-Japan の財政基盤強化の面からも有難いことであった。

(1) 勉強会

多方面に亘るテーマで 6 回開催。

開催会場については法人プレミアム会員の大和証券グループ本社様より大和コンファレンスホール(八重洲北口)を無償提供願い、講師・参加者とも交通至便で好都合であった。

開催日、テーマ、講演者、参加者数、収支概算は、別紙「平成 21 年度勉強会・セミナー開催一覧」の通り。

事業収入 171 千円 (参加費) 事業支出 120 千円 (講演謝礼、消耗品等)
参加者 延べ 228 名

(2) シンポジウム

サステナブルな社会の構築にも関心の高い女性経済評論家の勝間和代氏の講演を中心にシンポジウムを開催、多数の参加者があった。

本シンポジウムでは SIF-Japan 初めての協賛を募り、ニッセイアセットマネジメント様および T & D ホールディングス様よりご支援願った。なお会場については上記同様大和証券グループ本社様より大和コンファレンスホール(八重洲北口)を無償提供願った。

事業収入 504 千円 事業支出 48 千円
参加者 160 名

(3) 早稲田大学大学院ファイナンス学科との提携講座

同学科において見識ある金融人を育成する目的で職業倫理と社会的責任を真正面から取り上げた授業科目として「CSR/SRI 関連」が検討され、その講師派遣について SIF-Japan に協力要請があったものである。SIF-Japan としては事業活動の趣旨にも合致するので対応した。21 年度はパイロット講座として 4 月から 7 月の土曜日に 6 回開催され、講師は運営委員等が勤めたが全て無償であった。好評であったため、22 年度は正式科目として取り上げられる予定であり、SIF-Japan としても前年度と同様対応していくこととしている。

事業収入 0 円 事業支出 0 円

(4) ホームページ運営

SRI に関する各種情報の提供を図るとともに SRI 年報データ編の「SRI 純資産残高」等を 3, 6, 9, 12 月末現在にて更新し、発表している。本邦唯一の最新データとして各方面で引用されている。

事業収入 0 円 事業支出 19 千円

(5) メールマガジン

好評だったマスコミレポートは執筆者の都合で残念ながら休刊となったが、21/11 より別冊増刊号を発行し、小野島運営委員による「金融を変えた 8+1 人のストーリー ~ 自分の生き方として、倫理観に基いて ~」を月 2 回、22/9 (予定) まで 19 回連載する。内容は SIF-Japan の後藤会長、河口代表理事を初め、現在の SRI のメインプレイヤーとして活躍している人々が、どのようにして日本の SRI を確立していったか、延いては SIF-Japan の設立に至ったのか、その黎明期をたどるドキュメンタリーである。

事業収入 0 円 事業支出 0 円
配信数 期末現在 1470 通 (前年比 + 143)

(6) 金融機関とのコミュニケーション推進

金融機関を対象に(財)都市緑化基金と共催で「社会的責任投資と S E G E S を活用した新たな社会システムづくり勉強会(第 1 回)」をクローズドなミーティングとして実施した(21/7) 以外は具体的な活動には至らなかった。

22 年度に S R I を推進する金融機関およびアナリストを対象としたクローズドな会を金融機関ダイアログの形で立ち上げていく。

事業収入 0 円 事業支出 0 円

(7) S R I 年報(2009年版)の作成

既刊の「日本の S R I 年報 2007」を全面的に見直し、本格的な年報とすべく SIF-Japan の会員およびそれぞれの分野での第一人者の有志の方々による年報委員会を立ち上げ、作成に着手。年度内に原稿はほぼ固まったものの、印刷・発行には至らず、日本語版は 22 年 1 月末、英語版は 3 月末の発行予定で進めている。

なお発行に当たっては以下の各社様より多大の協賛を得、厚くお礼申し上げる。

- ・特別協賛 大和証券本社グループ、F T S E グループ、三井住友銀行
- ・一般協賛 東京証券取引所グループ、あずさサステナビリティ、日本政策投資銀行
損害保険ジャパン
- ・情報・データ提供 マーサージャパン
- ・助成金 (財)トラスト 6 0

事業収入 300 千円 (注) S R I 普及・啓発活動収入として 21 年度入金分のみ計上
事業支出 0 円

(8)(財)トラスト 6 0 助成事業

アメリカ、イギリス、韓国からの来訪者とのミーティングを開催し情報交換を行ったが、年報の発行については、前記の通り 22 年度にずれ込んだ。

助成金残額 1,253 千円 事業支出 79 千円
22 年度に繰越 1,174 千円

(9) 法制化研究

20 年度の事業であったが、レポートは「欧州 S R I 法制化研究プロジェクト報告書」として 21/4 月にウェブ上に発表した。

(10) コミュニティ投資研究、Students

十分な活動は出来ず 22 年度に改めて対応を検討する。

事業収入 0 円 事業支出 0 円

以上

平成21年度 勉強会・セミナー開催一覧

回	開催日	テーマ	講師、登壇者	会場	参加数(登壇者・スタッフを含む)		収入		支出	
					参加総数	会/非会	収入	支出		
定例勉強会										
28	H21.2.5	ステークホルダーとの対話を通じた企業価値の向上 概要: 自社が社会へ貢献する企業であることを再認識し企業価値を向上させるべくステークホルダーとの対話によって新しいCSRの実践方法を検討する味の素の活動を紹介。同社のステークホルダーの一人としてこの対話に参加したSIFJ運営委員の小樽がコメントを担当した。	中尾 洋三氏 (味の素(株) 広報・CSR部部长) コメンテーター: 小樽 雅章氏 (向社会性研究所 主任研究員)	大和コンファレンスホール (八重洲)	35 (人)	18/17 (人)	32	1		
29	H21.4.24	SRI事情・入門編'09 概要: 金融危機の今、持続可能な社会のために社会的責任投資によって金融が果たす役割を一考。SRIの歴史から現状まで基本的事例について分かり易く解説していただいた。毎年受講者に好評の講座。	水口 剛氏 (高崎経済大学経済学部教授、SIF-Japan理事)	大和コンファレンスホール (八重洲)	32	10/22	49	13		
30	H21.6.18	我々が望む社会とCO2削減コスト及び削減技術開発との関係 概要: 低炭素社会へ向けた、家庭・オフィス・産業等あらゆる角度からの方策、実現後のグリーンニューディール効果、それに伴う経済活性化のシナリオロードマップを提示する興味深い内容となった。	増井 利彦氏 (独)国立環境研究所 社会環境システム研究領域 統合評価研究室 室長) コメンテーター: 河川 真理子氏 (株)大和総研 経営戦略研究所 主任研究員)	大和コンファレンスホール (八重洲)	31	16/15	27	25		
31	H21.8.6	企業と地域社会を仲よくする「エゴなエコ」の推進活動 従業員参加型の楽しい環境活動と地域社会との共生を目指して 概要: 地域の環境問題を通じて、従業員と家族が地域の人と仲良くなり、企業のプレゼンスを高めることによって地域全体の環境意識も向上させる「テソ-エコポイント制度(通称DECOホン)」活動から企業のCSRのあり方を考え、SRIの立場からも検証した。	門井 徳孝氏 (株)デンソー 総務部企画2室DECOホン事務局)	大和コンファレンスホール (八重洲)	30	14/16	30	49		
32	H21.11.11	銀行の「本業に依拠したCSR」とは何を实践するのか 金融機関のCSRとしてあるべきベストプラクティス事例 概要: 環境・社会へのインパクト評価などを融資判断に組み込む独自の基準を持つ同社の、人間を中心におくサステナビリティ活動を展開する具体例を伺うと共に、金融機関がCSR、SRIに取り組むこと、PRIをどのように実践していくかの方向性について検証した。	山田 晴信氏 (香港上海銀行 在日副代表 兼 副CEO)	大和コンファレンスホール (八重洲)	50	27/23	33	32		

回は設立以来の通算回数

その他イベント										
CDSB基準 SUS/SIFJ 緊急合同勉強会										
H21.3.5		CDSB及び気候変動情報開示の国際動向について 概要: CDSBの現在の活動についての紹介と現在CDSBが作成中の枠組みについてのコメントをいただく機会を設けた。企業のCO2排出量の義務的情報開示に関する基準のため、事業会社には大きな影響があるものと考え、森氏に解説をいただいた。	森 洋一氏 (日本公認会計士協会経営研究調査会 環境会計専門部会副部会長)	大和コンファレンスホール (八重洲)	50	28/22	0	0		

シンポジウム										
H21.4.8		「サステナブルファイナンス」あなたのお金をサステナブルな社会作りに 概要: 勝間氏の講演…日本が抱える問題は環境問題に近い。価値観を転換し、一人一人ができることを地道にやっていく上で、「格差是正はできる人の義務」「男女共同参画が競争力を増す」「社会貢献は自然なこと」という空気を企業内に作っていく等、具体的な提言をいただいた。 パネルディスカッション…「日本にサステナブルを根付かせるために」をテーマに、投資面からの考え方も伺うことができた。	・勝間 和代氏 (経済評論家) ・モデレーター: 河川真理子氏 (株式会社大和総研経営戦略研究所主任研究員、SIF-J理事) ・パネリスト 末吉 竹二郎氏(UNEP FI特別顧問) 洪澤 健氏(シブサワ&カンパニー代表取締役)	大和コンファレンスホール (八重洲)	160	120/40	504	48		

21 年度 特定非営利活動に係る事業会計財産目録

平成 21 年 12 月 31 日現在

特定非営利活動法人 社会的責任投資フォーラム

科目・摘要	金額 (単位:円)		
資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
現金 (現金手許有高)	60,629		
普通預金 (三井住友銀行赤坂支店)	438,829		
普通預金 (三菱東京 UFJ 銀行赤坂見附支店)	2,552,823		
流動資産合計		3,052,281	
2 固定資産			
什器備品 (パソコン 3 台)	119,432		
固定資産合計		119,432	
資産合計			3,171,713
負債の部			
1 流動負債			
未払金 (事務所家賃 ｸﾞﾙｰﾌﾟ)	300,000		
未払金 (印刷経費 ｸﾞﾙｰﾌﾟ)	18,000		
預り金 (職員に対する源泉所得税)	13,110		
預り金 (報酬に対する源泉所得税)	16,307		
預り金 (職員に対する社会保険料)	45,134		
預り金 (職員に対する住民税)	2,500		
流動負債合計		395,051	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			395,051
正味財産			2,776,662

21 年度 特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

平成 21 年 12 月 31 日現在

特定非営利活動法人 社会的責任投資フォーラム

科 目	金 額 (単位:円)		科 目	金 額 (単位:円)	
資産の部			負債の部		
1 流動資産			1 流動負債		
現金	60,629		未払金	318,000	
普通預金	2,991,652		預り金	77,051	
			流動負債合計		395,051
流動資産合計		3,052,281	2 固定負債		
2 固定資産			固定負債合計		0
什器備品	119,432		負債合計		395,051
			正味財産の部		
固定資産合計		119,432	前期繰越正味財産	3,483,450	
			当期正味財産		
			増加額(減少額)	706,788	
			正味財産合計		2,776,662
資産合計		3,171,713	負債及び正味財産		
			合計		3,171,713

21 年度 特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

平成 21 年 12 月 31 日現在

特定非営利活動法人 社会的責任投資フォーラム

科 目	金 額 (単位:円)		
資産の部			
1 流動資産			
現金	60,929		
普通預金	2,991,652		
流動資産合計		3,052,281	
2 固定資産			
什器備品	119,432		
固定資産合計		119,432	
資産合計			3,171,713
負債の部			
1 流動負債			
未払金	318,000		
預り金	77,051		
流動負債合計		395,051	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			395,051
正味財産の部			
前期繰越正味財産		3,483,450	
当期正味財産増加額(減少額)		706,788	
正味財産合計			2,776,662
負債及び正味財産合計			3,171,713

21年度 特定非営利活動に係る事業会計収支計算書

平成 21 年 1 月 1 日から平成 21 年 12 月 31 日まで

特定非営利活動法人 社会的責任投資フォーラム

科 目	金 額 (単位:円)	
経常収入の部		
1 会費収入		
金融機関会費	1,400,000	
一般法人会費	700,000	
公的・中間機関会費	650,000	
NPO・NGO 会費	40,000	
個人会費	741,480	
学生会費	30,000	3,561,480
2 事業収入		
勉強会活動収入	171,100	
シンポジウム活動収入	504,000	
SRI 普及・啓発活動収入	300,000	975,100
3 雑収入		
受取利息収入	2,772	2,772
経常収入合計		4,539,352
経常支出の部		
1 事業費		
勉強会活動費用	120,024	
シンポジウム活動費用	47,884	
ホームページ運営活動費用	19,480	
助成事業支出	78,930	
給料手当(事業)	2,174,889	2,441,207
2 管理費		
給料手当	1,171,094	
法定福利費	353,210	
通信費	78,336	
旅費交通費	177,630	
事務用消耗品費	13,060	
備品消耗品費	23,848	
新聞図書費	500	
印刷経費	36,000	
地代家賃	600,000	
租税公課	400	
支払手数料	15,443	
業務委託費	315,773	
什器備品購入支出	118,800	2,904,094
経常支出合計		5,345,301
経常収支差額		805,949
その他資金収入の部		
1 その他資金収入	0	0
その他資金収入合計		0

その他資金支出の部			
1 その他資金支出	0	0	
その他資金支出合計			0
当期収支差額			805,949
前期繰越収支差額			3,463,179
次期繰越収支差額			2,657,230
(正味財産増減の部)			
正味財産増加の部			
1 資産増加額			
有形固定資産増加額	118,800		
2 負債減少額		0	
増加額合計			118,800
正味財産減少の部			
1 資産減少額			
当期収支差額(再掲)	805,949		
什器備品減価償却額	19,639		
2 負債増加額		0	
減少額合計			825,588
当期正味財産増加額			706,788
前期繰越正味財産額			3,483,450
当期正味財産合計			2,776,662

科目明細表

科 目	明 細	金 額	科 目 計
経常支出の部 1 事業費			
勉強会活動費用	諸謝金 荷造運賃 旅費交通費 会議費 備品消耗品費	103,332 3,600 4,460 6,500 2,132	120,024
シンポジウム活動費用	諸謝金 荷造運賃 旅費交通費	44,444 2,060 1,380	47,884
ホームページ運営活動費用	サーバーレンタル費 旅費交通費 支払手数料	18,000 320 1,160	19,480
助成事業支出	会議費 支払手数料	78,510 420	78,930

平成22年 定例理事会・定例総会資料 / No.5

平成21年度特定非営利活動に係る事業会計収支実績表
平成21年1月1日～平成21年12月31日

特定非営利活動法人社会的責任投資フォーラム
(単位: 円)

科目	細目	21年度予算額	同実績	差額	備考
経常収入の部					
1.会費収入		4,300,000	3,561,480	738,520	
正会員会費収入	金融機関会員(1口10万×1～5口/5会員) 1	1,500,000	1,400,000	100,000	新規:インテグリティ、損保ジャパン/減額:東京海上日動
()内は、期初在籍ベース	一般法人会員(1口10万×1～3口/3会員)	1,200,000	700,000	500,000	減額:YAMATO/退会:日産自動車
	公的・中間機関会員(1口10万×1口/7会員)	700,000	650,000	50,000	新規:日本経済研究所、投信協会、
	NPO/NGO会員(1口1万×1口/4会員)	50,000	40,000	10,000	退会:損保ジャパン環境財団
	個人会員(1口1万×1口/100会員)	800,000	741,480	58,520	
	学生会員(1口5千×1口/10会員)	50,000	30,000	20,000	
2.事業収入		1,100,000	975,100	124,900	
	勉強会活動	200,000	171,100	28,900	6回開催、会場無償提供願う
	シンポジウム活動	600,000	504,000	96,000	協賛金:ニッセイアセット、T&Dホールディングス
	コミュニティ投資研究活動	0	0	0	
	広報活動収入	0	0	0	
	ホームページ運営収入	100,000	0	100,000	
	SRI普及・啓発活動収入	200,000	300,000	100,000	年報協賛金:KPMGあずさ、東証G
3.助成金収入		0	0	0	
	トラスト60	0	0	0	前年度の残額:1,252,973円
4.雑収入		9,000	2,772	6,228	
	受取利息、雑収入	9,000	2,772	6,228	
経常収入合計(A)		5,409,000	4,539,352	869,648	
経常支出の部					
1.事業費		3,820,000	2,441,207	1,378,793	
SRI研究	勉強会活動	120,000	120,024	24	会場無償提供
情報開示促進	シンポジウム活動	200,000	47,884	152,116	会場無償提供。講師料薄謝。
	コミュニティ投資研究活動	100,000	0	100,000	
	提携講座	100,000	0	100,000	21/6より6回開催、講師料無償で対応
コミュニケーション促進	その他イベント活動	0	0	0	
提言・情報提供・教育啓発等	ホームページ運営	100,000	19,480	80,520	
	メールマガジン運営	0	0	0	21/11より別冊増刊号発行
	トラスト60助成事業	0	78,930	78,930	来日訪問客との会合;残額¥1,174,043
	金融機関とのコミュニケーション推進	300,000	0	300,000	
	SRI年報の作成・その他調査・研究	500,000	0	500,000	22/1に発行(日本語版)ずれ込む
	学生会部会活動	100,000	0	100,000	
	給料手当(事業)	2,300,000	2,174,889	125,111	常勤者1名・非常勤者1名の給料の65%
2.管理費		2,850,000	2,904,094	54,094	
事務局運営費	給料手当	1,200,000	1,171,094	28,906	常勤者1名・非常勤者1名の給料の35%
	法定福利費	300,000	353,210	53,210	常勤者期中退職に伴う引継のため費用増
	旅費交通費	150,000	177,630	27,630	
	地代家賃	600,000	600,000	0	
	支払手数料・業務委託費	300,000	331,216	31,216	会計事務所、司法書士
	通信・印刷・備品等	300,000	270,944	29,056	既存のPC不具合につき1台購入(118,800円)
経常支出合計(B)		6,670,000	5,345,301	1,324,699	
当期収支差額(A)-(B)		1,261,000	805,949	455,051	
前期繰越収支差額		3,463,179	3,463,179	0	
次期繰越収支差額		2,202,179	2,657,230	455,051	

1 金融機関種別会費 ()金融ホールディングカンパニー及び以下 ~ 以外
 ()地方銀行
 ()投資信託委託、投資顧問、投資会社、信用金庫単独
 ()信用組合

平成 22 年 2 月 10 日

監 査 報 告 書

特定非営利活動法人 社会的責任投資フォーラム
理 事 会 御 中

監事 寺田 良二



監事 魚住 隆太



私たちは、特定非営利活動法人社会的責任投資フォーラム（以下、同法人という）の平成 21 年 1 月 1 日から同年 12 月 31 日に係る会計及び業務について監査を行い、以下のとおり報告する。

1. 財産目録及び収支計算書は、会計帳簿と一致し、同法人の財政状態及び収支の状況を重要な点において、正しく示しているものと認める。
2. 事業報告書の記載内容は、重要な点において、真実を示しているものと認める。
3. 理事の職務執行に関する不正事項及び法令・定款に反する重要な事項は認められなかった。

以上

第7期 事業計画・予算書（案）

自 平成 22 年 1 月 1 日
至 平成 22 年 12 月 31 日

特定非営利活動法人
社会的責任投資フォーラム

平成22年度 年間事業計画(案)

平成22年1月1日～平成22年12月31日

定款第5条に基づく次の特定非営利活動に係る事業を実施する。

特定非営利活動法人社会的責任投資フォーラム

事業区分	事業名	具体的な内容	運営管理	実施予定時期・回数	実施予定場所	従事者の予定人数	受益対象者の範囲及び予定人数	支出見込額(単位:円)
勉強会運営	定例勉強会の開催	・SRIに関心のある会員・非会員を対象に、情報交換・意見交換を行なう。毎回、実務家を中心にSRIへの造詣の深い講師を招き参加者のSRIに関する知識を高め、交流の場とする。 ・SRIの基本入門コース、専門コース、パネルディスカッションなど。	鷹羽吉田	6回	東京都、関西圏	10名	SRI関係者又は興味を持つ不特定多数の人	120,000
シンポジウム運営	シンポジウムの開催	・SRI普及・拡大の足がかりとなるよう広範なテーマでより幅広い層、多くの人々を集め、SRIの認知を大きく高めるものとSRI運用担当者やメインストリームにいるいわゆるSRIのプロ向けのもの開催を検討していく。 後者については後述の金融機関ダイアログを開催していく。 ・新年報の発行を機にお披露目セミナーを開催する。講師は各執筆者。	事務局	年1～2回	東京都	10名	SRI関係者又は興味を持つ不特定多数の人	200,000
マイクロファイナンスの研究	日本におけるマイクロファイナンスの現状について調査、研究	・日本においても途上国向けのマイクロファイナンスの取り組みが見られ始めたが、現状を把握し、研究成果をすするとともにワークショップの開催を検討する。	片口	通年	東京都および国内の調査対象地域	5名	地域非限定、不特定多数	50,000
提携講座	早稲田大学大学院ファイナンス学科提携講座	・早稲田大学大学院ファイナンス学科において見識のある金融人を育成するという目的に照らし、職業倫理と社会的責任を真正面から取り上げた授業科目の導入が必要と考え、「CSR/SRI関連について」の講座を取り上げ、昨年のパイロット講座から今年は正式科目として開設されることとなった。 ・これに関し、SIF-Jに対して全面的に講師派遣の要請があり、SIF-Jの理念に沿うものと考えられるので対応する(無償)。4月から7月の土曜日で14回開講予定。閉講後講義録の発行を検討する。	河口山本	15回	東京都	15名	早稲田大学ファイナンス研究科学生	50,000
ホームページ運営	ホームページの維持・更新	・日本におけるSRIの概要、最新情報等について幅広く多くの人々に中立的な立場から情報を提供する。 ・現在の情報コンテンツの維持、更新、拡充。 ・「日本SRI年報」のデータ更新(3, 6, 9, 12月末)。	江良事務局	通年	東京都	1～3名	地域非限定、不特定多数	50,000
メルマガジン運営	月刊メールマガジンの発行	・SRIに関するあらゆる情報を無料で頒布することで、SRIに関心を持つ方の裾野を広げ、持続的な情報提供を行う。 ・SIF-Japanの活動のお知らせ、オピニオンリーダーによるSRIに関する雑感、SRIに関する文献情報、関連イベント情報、SIF-Japanの活動報告などをメールによって無料で広く発信する。	事務局	月1回	東京都	1～3名	地域非限定、不特定多数	0
	月刊メールマガジン別冊の発行	メルマガ読者限定で、「金融を変えた8+1人のストーリー～自分の生き方として、倫理観に基づいて～」を連載。SIF-Jの後藤会長、河口代表理事を始め現在のSRIのメインプレイヤーとして活躍している人々が、どのようにして日本のSRIを確立していったか、延いてはSIF-J設立にいたったのが、その黎明期をたどるドキュメンタリー。本著は現在日興アセットマネジメントに勤務し、SIF-Jの運営委員でもある小野島茉莉氏が大学の卒業制作として執筆したものの中からアレンジしたもので昨年11月20日号を第1回としてつき2回ペースで22年9月まで計19回連載する。	小野島事務局	隔週	東京都	1～2名	SRI関係者又は興味を持つ不特定多数の人	
金融機関等とのコミュニケーション推進	金融機関ダイアログの開催	・SRIを推進する金融機関およびSRIアナリストを対象としたクローズドな会とし、昨今話題となっている第一線で活躍されている専門家を交えて、「金融機関はSRIを通じて何が出来るか」という点について、ダイアログ形式で議論する場をシリーズ企画として設ける。本件を通じてSR金融機関と専門家とのダイアログの推進 SRIアナリストからのコメントの共有 金融機関同士のネットワーク作りを図り、より実質的なSRI普及活動に寄与する。あわせて会員獲得につなげていく。 ・UNEP FI, PRI 署名機関を中心に参加を金融機関に呼びかける。	鷹羽	年数回	東京都	10名	SRI関係者及び金融機関	100,000
SRI年報の作成およびその他調査・研究	2009年版の発行	・既刊の「日本SRI年報2007」を全面的に見直し、本格的な年報とすべくSRI・CSRの専門家による年報委員会を立ち上げ(21年3月)、制作。22年1月末日本語版、3月末英語版を発行予定。発行に当たっては協賛を募り、特別協賛3社、一般協賛4社の協力を得ている。法人会員には紙ベース、個人会員にはHPのダウンロードを通じて配布。また一般向けには有料で頒布。 ・年報発行を通じて日本におけるSRIの状況について国内外に積極的に情報発信を図っていく。	鷹羽事務局	通年	東京都	10名	SRI関係者または関心を持つ不特定多数の人	950,000
Students	大学生による大学生など入門者向けのセミナー、WEBコンテンツなどでの啓発活動	・学生など入門者向けの啓発活動 ・Studentsメンバーによる自主勉強会、一般学生向けセミナー開催、WEBコンテンツ制作	事務局	通年	関東圏	10～30名	地域非限定、不特定多数	50,000
小計								1,570,000
各事業推進に係る給料手当て								2,080,000
合計								3,650,000

平成22年 定例理事会・定例総会資料 / No.7

平成22年度特定非営利活動に係る事業会計収支予算書案

平成22年1月1日～平成22年12月31日

特定非営利活動法人社会的責任投資フォーラム
(単位:円)

科目	細目	21年度予算額	同実績	22年度予算額	備考
経常収入の部					
1.会費収入		4,300,000	3,561,480	4,650,000	
正会員会費収入	金融機関会員(1口10万×1～5口/5会員) 1	1,500,000	1,400,000	2,200,000	新規:三井住友BK、日興アセット他
()内は、期初在籍ベース	一般法人会員(1口10万×1～3口/3会員)	1,200,000	700,000	1,000,000	新規:ブルームバーグ
	公的・中間機関会員(1口10万×1口/7会員)	700,000	650,000	650,000	
	NPO/NGO会員(1口1万×1口/4会員)	50,000	40,000	20,000	
	個人会員(1口1万×1口/100会員)	800,000	741,480	750,000	前納・滞納有
	学生会員(1口5千×1口/10会員)	50,000	30,000	30,000	
2.事業収入		1,100,000	975,100	1,280,000	
	勉強会活動	200,000	171,100	180,000	
	シンポジウム活動	600,000	504,000	300,000	協賛金を含む
	マイクロファイナンスの研究活動	0	0	0	
	広報活動収入	0	0	0	
	ホームページ運営収入	100,000	0	100,000	協賛金を含む
	SRI普及・啓発活動収入	200,000	300,000	700,000	年報協賛金:DBJ、損保ジャパン、FTSE、年報頒布200部
3.助成金収入		0	0	0	
	トラスト60	0	0	0	前年度の残額:1,174,043円
4.雑収入		9,000	2,772	3,000	
	受取利息、雑収入	9,000	2,772	3,000	
経常収入合計(A)		5,409,000	4,539,352	5,933,000	
経常支出の部					
1.事業費		3,820,000	2,441,207	3,650,000	
SRI研究	勉強会活動	120,000	120,024	120,000	講師謝金
情報開示促進	シンポジウム活動	200,000	47,884	200,000	講師謝金、会場費
	マイクロファイナンスの研究活動	100,000	0	50,000	
	提携講座	100,000	0	50,000	
コミュニケーション促進	その他イベント活動	0	0	0	
提言・情報提供・教育啓発等	ホームページ運営	100,000	19,480	50,000	サーバーレンタル費
	メールマガジン運営	0	0	0	21/11より別冊増刊号発行(22/9迄)
	トラスト60助成事業	0	78,930	0	前年度の残額1,174,043円を各事業に配付して計上
	金融機関とのコミュニケーション推進	300,000	0	100,000	講師謝金
	SRI年報の作成・その他調査・研究	500,000	0	950,000	22年度に発行ずれこむ(日本語版・英語版)
	学生会部活動	100,000	0	50,000	
	給料手当(事業)	2,300,000	2,174,889	2,080,000	常勤者1名・非常勤者1名の給料の65%
2.管理費		2,850,000	2,904,094	2,680,000	
事務局運営費	給料手当	1,200,000	1,171,094	1,120,000	常勤者1名・非常勤者1名の給料の35%
	法定福利費	300,000	353,210	300,000	
	旅費交通費	150,000	177,630	160,000	
	地代家賃	600,000	600,000	600,000	
	支払手数料・業務委託費	300,000	331,216	300,000	会計事務所、司法書士
	通信・印刷・備品等	300,000	270,944	200,000	
経常支出合計(B)		6,670,000	5,345,301	6,330,000	
当期収支差額(A)-(B)		1,261,000	805,949	397,000	
前期繰越収支差額		3,463,179	3,463,179	2,657,230	
次期繰越収支差額		2,202,179	2,657,230	2,260,230	

1 金融機関種別会費 ()金融ホールディングカンパニー及び以下 ~ 以外
 ()地方銀行
 ()投資信託委託、投資顧問、投資会社、信用金庫単独
 ()信用組合

運営委員候補一覧

特定非営利活動法人社会的責任投資フォーラム

(敬称略・50音順)

平成22年4月1日～平成24年3月31日

	氏 名	所 属	
1	内田 宏樹	株式会社CSR経営研究所	再
2	江良 明嗣	日興アセットマネジメント株式会社	新
3	小野島 茉莉	日興アセットマネジメント株式会社	再
4	加とう 正法	社会経営システム研究所、NPO法人 洗心洞大学 理事	再
5	金谷 扇	三菱UFJリサーチ&コンサルティング	再
6	片口 美保子	ゴールドマン・サックス証券	再
7	河口 真理子	株式会社大和総研	再
8	小樽 雅章	向社会性研究所	再
9	新谷 大輔	株式会社三井物産戦略研究所	再
10	藺田 綾子	株式会社クレアン	再
11	相馬 直子	株式会社住友信託銀行	新
12	鷹羽 美奈子	リスクメトリクスグループ	再
13	竹ヶ原 啓介	株式会社日本政策投資銀行	再
14	田中 秀一郎	株式会社大和証券グループ本社	再
15	野村 恭子	あらた監査法人	再
16	平松 宏城	CSRデザイン&ランドスケープ設計事務所	再
17	福吉 隆行	株式会社日本政策投資銀行	再
18	松本 美奈	エリアリンク株式会社	再
19	物江 陽子	株式会社大和総研	再
20	山崎 明美	日本シェアホルダーサービス株式会社 (三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社より出向)	再
21	山本 利明	大阪電気通信大学	再
22	横塚 仁士	株式会社大和総研	再
23	吉田 哲朗	株式会社しんきん信託銀行	再

以上23名

は21年度中に新たに選出された委員

**特定非営利活動法人社会的責任投資フォーラム
役員一覧**

任期平成21年4月1日～平成23年3月31日

役職	氏名（各50音順）	備考	個人が所属する組織は会員とは限りません。
理事	青木 修三 様		帝京大学
理事	秋山 をね 様		株式会社インテグレックス
理事	足達 英一郎 様		株式会社日本総合研究所
理事	稲岡 稔 様		株式会社セブン&アイ・ホールディングス
理事	植原 恵子 様		株式会社大和証券グループ本社
理事	川合 アユム 様		株式会社YAMATO
理事	木内 孝 様		NPO法人フューチャー500
理事	河口 真理子 様		株式会社大和総研
理事	後藤 敏彦 様		環境監査研究会
理事	首藤 恵 様		早稲田大学大学院
理事	園田 綾子 様		株式会社クレアン
理事	菱田 賀夫(よしお) 様		住友信託銀行株式会社
理事	菱山 隆二 様		NGO企業行動研究センター
理事	水口 剛 様		高崎経済大学
理事	宮城 治男 様		NPO法人エティック
理事	柳 正憲 様		株式会社日本政策投資銀行
監事	寺田 良二 様		株式会社あらたサステナビリティ認証機構
監事	魚住 隆太 様		KPMGあずさサステナビリティ株式会社